

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1298700012		
法人名	社会福祉法人希望会		
事業所名	グループホーム希望の里		
所在地	千葉県匝瑳栢田8645		
自己評価作成日	平成31年3月13日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成31年3月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

匝瑳市の運営する訪問看護ステーションと医療連携し、365日24時間連絡対応体制を整えています。地域の薬局と連携し、薬剤師による服薬管理及び、職員への薬の説明や助言をして頂いています。地域の歯科医院と連携し、歯科医による訪問診療及び、職員への口腔ケアの説明や助言をして頂いています。地域の小学校2校と毎年交流会を実施し、2校との交流会を同日開催した平成30年度は100名の参加者となりました。希望会職員と地域住民が交流を図る新年会をホテルにて行い、平成30年度は118名の参加者となりました。季節を感じる事ができるように、季節毎の外出、季節の行事を施設内にて開催しています。地域の薬局の医療連携室職員を招いた講習や、聖路加国際大学看護学部の講師を招いた講習を開催し、職員のスキルアップに努めました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

畑に囲まれた静かな環境の中に、「グループホーム希望の里」がある。同法人が経営する併設のケアハウスとデイサービスも近隣にあり、日頃の行き来や合同行事等で交流が行われており、入居者の楽しみとなっている。施設では入居者の「地域に根ざした明るい長寿社会作り」を理念に掲げ、地域に根差した施設運営を目指しており、日頃の挨拶・声掛けや地域行事への参加を通じて、地域との交流を図ると共に、ボランティア団体を招いての施設内行事等、様々な形で地域との交流機会を確保している。今年は、地域住民を交えた法人の新年会を実施しており、職員も含め100名以上の方々に参加している。日常的な外出の他に、外出行事を定期的にも実施しており、入居者の戸外での楽しみを支援している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に根ざした明るい長寿社会作りという運営理念を玄関に大きな文字で掲示しています。地域の行事に参加しています。	施設理念を事業所の玄関に掲示しており、外部の方々にも分かりやすく周知している。新人研修や現任研修で理念の共有化を図っており、地域に根差した、支援の実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	野田小学校、共興小学校、障害者施設おさいホーム、野栄学園と毎年交流を図っています。	地域行事の参加や施設行事への招待等を通して、地域との交流を深めている。また、同法人が運営するケアハウスとの合同行事にも参加している。その他、ボランティアの受け入れや地域の小学校・障害者支援施設との交流会も行う等、世代間交流にも取り組んでいる。今年は、地域住民を交えた法人の新年会を実施しており、職員も含め100名以上の方々が参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域住民から相談があると、責任者が相談対応しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所職員、民生委員、御家族、管理者が2ヶ月に1回集まり、運営推進会議を実施しています。活動報告、活動予定、介護保険に関する事を話し合っています。	市職員・民生委員・地域住民・家族・職員を構成員として、運営推進会議を年6回開催している。会議では施設の活動報告や意見及び情報交換を行っている。また、勉強会も行っており、サービスや運営の向上に繋げている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の時や、市役所主催の研修の時、市役所窓口の職員が伺った時、または電話やメールにて連絡を密にとっています。	市職員とは、日頃から施設運営等に関する相談や報告を通して、連携を図っている。また、毎月入居者名簿を市に提出しており、入居状況を共有している。その他、匝瑳市介護保険事業者連絡会に参加しており、市や同業者との情報・意見交換を通して、協力関係を構築している。	

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束による資料を職員に配布した内部研修を実施。定期的に身体拘束廃止委員会を実施。	身体拘束排除における指針を整備していると共に、検討委員会及び内部研修が2カ月に1回開催されており、身体拘束の無い支援を実践している。また、高齢者虐待防止や権利擁護に関する研修も実施しており、職員全員で共通理解を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	聖路加国際大学看護学部の講師を招いて、高齢者虐待防止法について研修を実施。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社会福祉協議会の担当者や匝瑳市役所の担当者に来て頂き、成年後見制度について相談にのって頂いております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容は契約時に利用者のご家族に丁寧に説明しています。理解の上、入居して頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	市役所職員の案により、目安箱を玄関先に設置しています。面会時や電話連絡時に要望を伺っています。	面会や電話連絡時に直接家族に意見や要望を確認している。また、運営推進会議においても入居者家族から意見や要望等の確認を行っている。挙げた意見や要望に関しては、職員会議にて検討・周知を行い適切な対応に努めている。その他、毎月、家族に手紙を送付しており、入居者の活動や生活状況を伝えている。また、法人の広報誌も発行し、他のサービス事業の活動状況も伝えている。	

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設責任者は、職員の意見を否定しないように努めています。提案内容は、金魚をホーム内で飼う事や調理レクリエーションをしたのでホットプレートを購入したいなどで、実現しています。	定期的に会議を開催しており、職員の意見や提案を確認し、運営に反映させている。また、管理者は随時職員と話す機会作りを心掛け、一人ひとりの思いや意見を引き出すように努めている。他に、OJT体制を取り入れ、職員個々に応じた技術や知識の取得に取り組んでいる。希望休や有給休暇の取得については、柔軟に対応しており、働きやすい職場環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている	介護職員処遇改善加算金を毎月、一時金として各職員に、基本給とは別に支給しています。毎年4月には追加分を支給しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護福祉士や介護支援専門員の資格取得希望者が、受験対策研修に行く場合は、その会場までの往復の交通費を法人が負担しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他法人の特養やグループホームに職員が見学に伺い、話し合いの場を設けています。他法人の職員にも、当施設にきて頂き、交流の場を設けています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前は、時間をかけて面接を行い、要望などを伺っています。サービス内容についても説明しています。関係機関とも情報交換しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、困っていることなどを伺うことで、安心した生活の実現に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	訪問看護ステーション、薬局、歯科クリニックと連携して医療サービスも支援しています。		

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の様子をみながら、適時の声掛けをしたり会話をしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族には毎月手紙を送ったり、またはお電話をしたり、または面会時に近況を報告したりしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居する前からのかかりつけ医との関係を継続できるように、かかりつけ医のいる医療機関に職員が送迎と院内付き添いを毎回して、入居後も必要な診察を受けて頂いております。	家族との外出や手紙等を支援しており、家族との関係継続に配慮している。本人や家族の希望に応じて、ドライブや地域行事への参加・馴染みの場所への外出支援を行っており、地域との関係を大切にしている。その他、隣接しているケアハウスの入居者との交流も行っており、同世代の関係構築を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者ひとりひとりが楽しみ暮らせるように、食事の席替えなど配慮しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お亡くなりになった方の葬儀に職員が出席したり、法人名義で花輪をだしたりしています。退居後もお手紙をお送りしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前に、生活歴、趣味、病歴などを聞き取りしています。	本人や家族から意向・身体状況・生活歴等を確認し、情報の把握に努めている。また、日頃の生活の様子や言葉の中から入居者の思いや意向の把握に努め、本人本位でその人らしい生活の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に関係しているケアマネージャー、ソーシャルワーカー、御家族から情報を伺っています。		

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の心身状態の観察から得られた情報を分析して、訪問看護、歯科医師、薬剤師に報告しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御家族、医師、看護師、薬剤師に意見を伺っています。医療面も含めてケアを考えています。	入居者や家族の意向を踏まえた上で、職員全員で話し合い、介護計画を作成している。また、定期的に評価や目標の達成状況を確認し、必要に応じて介護計画の見直しを行っている。職員は会議や申し送りノート等を活用しながら常に新しい情報を共有し、本人の意向や現状に即した介護計画の作成に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、夜間日誌は、ひとりひとりのケア状況、水分量、食事量などすぐわかるように工夫しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	施設で、1台の携帯電話を購入。利用者が友人や家族に気軽に電話できるようにしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	面会に制限をかけないので、友人やご家族などが気軽に会いに来られています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診には、ケアマネージャーが同席しています。主治医に近況を報告しています。	希望の医療機関や協力病院への受診が可能となっており、家族の希望に応じて通院の付き添い支援を行っている。受診状況については、手紙や電話で報告している。また、訪問歯科を月1回実施している。その他、訪問看護を実施しており、健康管理や医療面での対応・相談・助言を行う等、連携体制が確立されており、入居者・家族・職員の安心に繋がっている。	

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションと24時間365日連絡対応体制を整えています。毎週、職員と看護師で話し合いをしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際は、退院するまで医師やソーシャルワーカーと管理者やケアマネジャーが話し合いをしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に、将来、重度化した場合のことも説明して、理解をして頂いております。訪問看護ステーションと医療連携しています。	重度化や終末期における施設の方針・指針を明文化し、家族に説明の上、意思を確認している。重度化した場合や終末期においては、協力病院や訪問看護との連携体制が確立されており、家族・医師・看護師・職員が話し合いながら、施設として出来る限りの支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎年、救命士を消防署から招き、実践的な救命講習を開催しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎年、消防署の立ち会いのものと避難訓練と、立会なしの避難訓練を実施。	スプリンクラー・自動通報機・火災報知器等の消防設備を設置していると共に、年2回の消防訓練を実施している。訓練では、消防署立会い訓練・消火器訓練、通報訓練、救命措置等を行い、状況に応じた対応の確認を行っている。また、市の自主防災会を通じて、緊急時・非常災害時の対策等も話し合われており、協力体制が築かれている。その他、地域の避難訓練にも参加している。	災害時に、安全かつ円滑に避難できるように、非常口付近の環境整備を行っていただくことを望みます。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けには細心の注意を払っています。各個室にはプライベートな私物を持ち込み頂いております。	接遇やプライバシー保護に関するマニュアルを整備する共に、研修を実施する等、職員へ意義の周知徹底を図っている。職員は、入居者への尊敬の気持ちを大切に、見守り・言葉遣いに注意を払う等、入居者の尊厳を守り、適切な支援を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意思を尊重した対応を心がけています。入浴、外出行事など随時、利用者の希望を伺っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お昼寝、おやつ、食事のおかずなど希望に沿った支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整髪、はみがき、洗顔など本人のペースを尊重しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	法人専属の栄養士が、食事から季節を感じられるようにメニューを考案しています。	献立は、法人の栄養士が作成しており、栄養バランスや季節感に配慮した食事提供がなされている。また、外食の実施や行事食や手作りおやつ・入居者の希望に応じたメニューの提供を行っており、食に対する楽しみを広げている。その他、地域からの差し入れや収穫された野菜等を活用した食事作りも行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量がわかるように日誌を工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師に訪問して頂き、口腔ケアの実施、義歯の調整、治療などをして頂いております。		

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	希望者に法人所有のポータブルトイレを無償貸与しています。利用者ごとの排泄パターンを把握できるよう排泄チェック表を活用しています。	排泄の記録を確認しながら排泄パターンを把握し、一人ひとりに合わせた声掛けやトイレ誘導を行う等、排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。必要に応じて、医師や訪問看護と相談を行い、適切な排便コントロールに努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量や食事量、排便のチェックを随時行って、便秘予防に努めています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	快適に過ごせるシャワーチェアを平成30年度に購入。安心して安全に入浴できるよう心掛けています。	入浴は定期的実施されており、入居者の希望や体調に応じて回数等、柔軟に対応している。また、必要に応じて、清拭・シャワー浴・部分浴等を実施しており、入居者の清潔保持に努めている。入浴拒否のあった場合には、声掛けやタイミングの工夫により無理強いない対応を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	福祉用具相談員と話し合いを行い、ひとりひとりに合った介護ベッド、エアーマットなどを使用させて頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師とは毎月、情報交換をして、適切な服薬管理を支援させて頂いております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日光浴、敷地内の散歩、他入居者との会話、職員との会話、御家族とのドライブ、施設の外出行事など、気分転換の支援に努めています。		

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	初詣、桜見学、チューリップ見学、障害者施設の春と秋のお祭り見学にでかけられるよう支援しています。	入居者の体調や希望に応じて、散歩・買い物・ドライブ等を実施していると共に、個別の希望にも対応する等、柔軟な外出支援を行っている。また、季節に合わせて外出会等も企画・実施されており、戸外で楽しめるように配慮している。隣接施設との合同行事に積極的に参加する等、気分転換やストレス発散の機会として活用している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	可能な範囲で、自己管理して頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	施設で携帯電話を購入。利用者が気軽に友人やご家族に電話できるよう支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関に水槽を置く事で癒しの空間となりました。心地よいオルゴール音楽をかけたり、室温の管理に努めています。	施設内は全面バリアフリーで、廊下やトイレ等は十分な介助スペースが確保されている。施設内は日当たりが良く、開放的な窓の前にはソファが設置されており、入居者が思い思いにくつろいだり一息つけるように配慮されている。また、窓の向こうにウッドデッキが設置され、日向ぼっこやお茶飲み等が可能となっており、入居者の楽しみとなっている。カラオケ機・マッサージ機・リハビリ機器等を設置し、入居者への娯楽提供や身体機能の維持・向上に繋げている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座席の席替えを随時、気の合う入居者が隣同士になるように検討しています。		

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	見慣れたものが居室にあると落ち着きますので、使い慣れたものを自宅から持参して頂いております。	入居者の希望により、馴染みの物を自由に持ち込む事が可能となっており、入居者が安心して居心地良く過ごせるように配慮されている。また、畳やカーペット等を敷く事も自由となっており、生活歴に合わせた居室作りがなされている。全居室にエアコンが設置され、適切な空調管理がなされている。他に、収納スペース・鍵・呼び出しボタン等を設置しており、プライバシー確保及び安全面に配慮した居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室入口に、本人の写真を貼ったり名札を貼ったりすることで、自分の居室と認識できるように工夫しています。		